

## 令和8年度鹿児島県立与論高等学校第60回入学式 式辞

やわらかな春の日差しから、日に日に力強さを増す日差しに、若葉も芽生え始めるこの季節に、多数の御来賓と保護者の皆様のご臨席を賜り、鹿児島県立与論高等学校第60回入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとってこの上ない喜びであり、厚く御礼申し上げます。

35名の新入生のみなさん、入学おめでとう。そして、本校への進学を決断し、入学してくれたこと、心から感謝します。本当に、ありがとう。令和8年度与論高校は、新入生35名のみなさんと、2年生42名、3年生40名の生徒数、計117名でスタートすることになります。この与論島の未来を創造する人材になるべく、先輩たちとともに切磋琢磨して成長していくことを期待します。

さて、本校は、町民の方々の切なる願いの下に、昭和42年、県立大島高等学校与論分校として開校しました。昭和46年には県立与論高等学校として独立し、これを機に校章や校歌などが制定されました。

平成12年には、与論中学校との連携型中高一貫教育校の指定を受け、新たな歩みを刻みながら、一島一校の高等学校として、その役割を確実に担ってまいりました。

令和となった新しい今の時代においても、そのよき伝統と爽やかで落ち着いた校風を継承し、本年度で創立60周年を迎えることになりました。その本校で、新入生のみなさんが勉学や学校行事などに真摯に取り組み、充実した高校生活を送ることを期待します。

今、世界に目を向けてみますと、中東やウクライナ情勢など、いつ何が起きるか先を見通すことが一層難しい時代になっています。一方、AIをはじめとする人工知能など、科学技術の進化も急激に進んでいます。その中で、みなさんが充実した高校生活を送れるよう、本校では、令和2年度から、「予測困難な時代を主体的に生き抜く力を持った生徒を育成する」ことを重点目標に掲げ、教育の充実・改善を図っています。キーワードは、体育館前方の右上に掲げてある本校の校訓「好学・創造・親和・不屈」です。本校の校訓「好学・創造・親和・不屈」は、本校の草創期から引き継がれているものですが、今、この「予測困難な時代を主体的に生き抜く力」を身につけていくために重要なキーワードとして輝きを増しているように思います。新入生のみなさんには、この校訓の意味を自分自身でよく考え、しっかりと理解、実践し、たくましく成長していくことを期待します。

さて、新入生のみなさんが、充実した高校生活を送れることを願って、お話ししたいことが2点あります。

1つ目は、「高校生活における目標を定めてください。」ということです。高校3年間をどのように過ごして成長していきたいかをこの入学時に考えることは、非常に大事なことだと考えます。自分の進みたい方向がわかっているのとわかっていないのと

では3年後の成長の度合いが大きく変わってくるものと思います。途中、目標は修正し、変わっていくことがあってもいいと思いますが、今、現時点での目標設定について是非考えてください。そして、目標設定と同時に、何のためにその目標を設定するのか、その目的についても考えてみてください。目標と目的、この2つを一緒に考えること、是非、取り組むことを期待します。

2つ目は、「ルーツに誇りを持つ」ということです。

与論のことが「好き」か「嫌い」か、ということは別として、今現在、関わりのある与論について、知ること、そこに自分がいる意味を考え、与論のよい点や課題点など、与論を離れる前によく考えておくことが、与論以外の地域で生活していくときにも、その地域について考え、知ることによって地域の理解、広くいえば、国際理解につながるものと考えます。あなた自身にとって、「親とはどういう存在なのか」、「友達、仲間はどういう存在か」、「与論高校はあなた自身にとってどういう場所か」、など考えてみてください。

あらためて、そのようなことを考えることによって、みなさんには、与論の未来を支える人材になってほしいと願うと同時に、どの社会でも通用する人材になってほしいと心から思います。自分を活かし、周りの人を活かし、お互い理解し合える学校、地域社会、国際社会を築いていけるよう、まずは足下、自分のルーツについて、しっかりと考えてみてください。

保護者の皆様、お子様の御入学心から歓迎いたします。

先にも述べましたが、本校では、「予測困難な時代を主体的に生き抜く力を持った生徒を育成する」ことを重点目標に掲げ、教育の充実・改善を図っています。預かりました大事なお子様については、3年後、さらに成長したお子様の姿を見せられるよう、そして、「与論高校で学ばせてよかった」と実感していただけるよう、教職員一同、全力でお子様の成長の支援に取り組んで参ります。お子様のさらなる成長のため、保護者の皆様におかれましては、本校の教育方針について御理解いただき、御協力賜りますようお願いいたします。

結びに、新入生のみなさんの御活躍を心から期待するとともに、本校の教育活動に対し、日頃から温かい御理解とご支援、御協力をいただいているすべての皆様に感謝を申し上げ、式辞といたします。

令和8年4月8日

鹿児島県立与論高等学校

校長 山下 剛志